

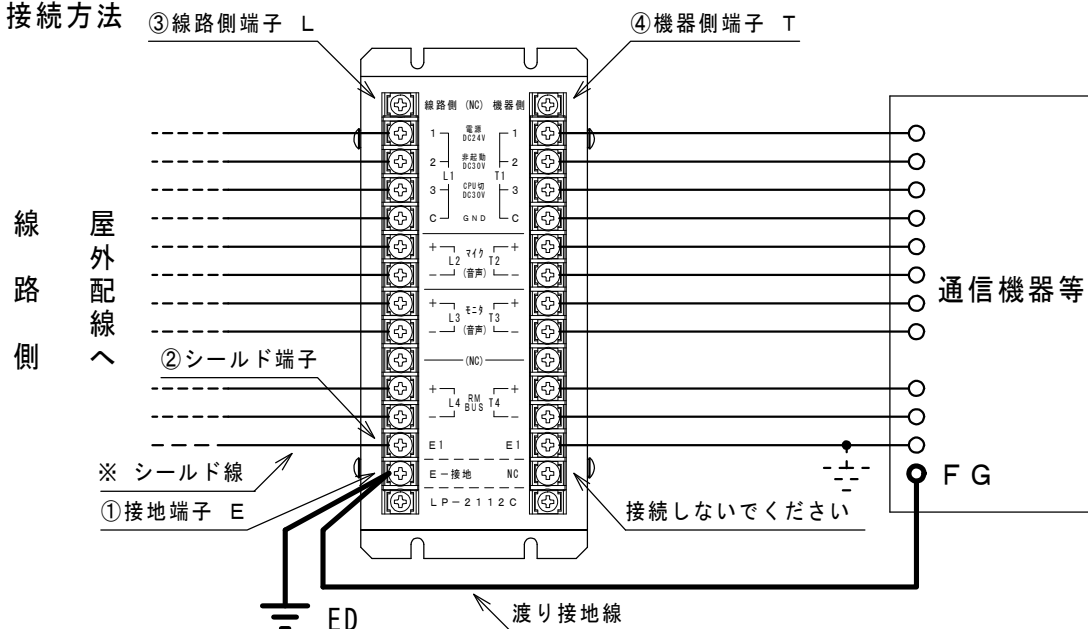
取扱説明書 通信用保安器 LP-2112C

このたびは、通信用保安器 LP-2112Cをご採用いただき誠にありがとうございました。
ご使用前には、必ずこの取扱説明書をお読みくださいますようお願い申し上げます。

1. 特 長

- (1) 通信線から侵入する雷サージ等の異常電圧より機器を保護します。
- (2) 急峻な雷サージに対しては、速い応答速度で電圧を制限します。

2. 接続方法



※ シールド線の接地は、通信機器等の仕様のとおり接続してください。

例) 中央装置側で接地、端末側は非接地

保安器のシールド線用端子と接地端子はサージ防護素子で結合しています。

接地線は図のように渡り接地をしてください。また、出来るだけ短く配線し太い線 (5.5mm² 以上) をご使用ください。

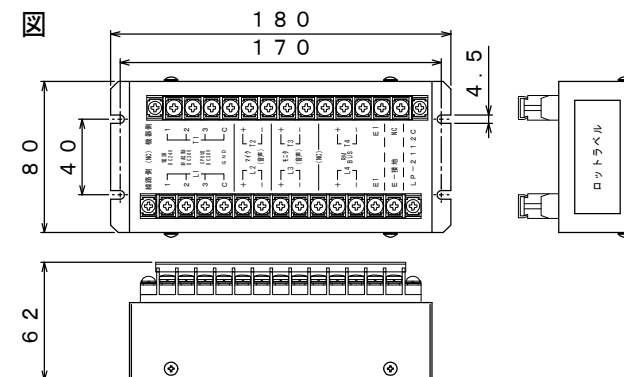
接地は、良好な接地 (接地抵抗 10Ω 以下が好ましい) をとってください。

- ①接地端子 E : 機器接地 ED および機器 FG 端子に接続してください。
- ②シールド端子 E1 : 通信ケーブルのシールド線を接続します。
- ③線路側端子 L : 線路側の通信線を接続します。
- ④機器側端子 T : 機器側の通信線を接続します。

3. 仕 様

項 目		性 能		
適 用 回 路		電源 DC24V	ミッド(音声)	RM BUS用 2C,1シフト 1回線
		非起動(DC30V)		
		CPU切(DC30V)	7V(音声)	
最大連続使用電圧 U _c		DC 38 V		DC 5.5 V
定 格 電 流		2 A		2 0 0 mA
電圧防護レベル U _p		8 0 0 V		
		5 0 0 V (2 k A 印加時)		————
インパルス	カテゴリ C 2	1 0 k A		
耐久性	カテゴリ D 1	2 . 5 k A		
絶縁抵抗		100MΩ 以上(※1)		
挿入損失		————	1 dB以下(※2)	1 dB以下(※3)
直列抵抗 (1線当たり)		1 Ω 以下		(5.1 Ω)
使用温湿度範囲		- 2 5℃～7 0℃ 9 3%以下 (ただし結露・氷結のないこと)		
※1 L-E間 DC100V絶縁抵抗計にて測定				
※2 L-T間 DC～50kHz (600Ω)				
※3 L-T間 DC～1MHz (100Ω)				

4. 外 観 図



※製品改良により、形状及び仕様を予告なく変更する場合がありますので御了承ください。
※雷は、自然現象であり、保安器を設置した場合も残念ながら絶対に雷害発生が抑えられるとは限りません。保安器を設置することにより被害の発生頻度を激減させることができ、最悪被害の程度は軽微なものとなります。

DAIHEN 株式会社

〒532-8512 大阪府大阪市淀川区田川2丁目1番11号
TEL 06-7177-6760 FAX 06-6308-0962

TS219P

2026年7月 作成